

平成 29 年度 (2017 年)

日本声楽発声学会

第 105 回例会

第 53 回総会

平成 29 年 5 月 28 日 (日)
9 時 55 分 ~ 16 時 30 分 (受付 9 時 30 分より)

東京藝術大学音楽学部
大講義室 (5-109)
(JR 上野駅公園口より徒歩 10 分)

日本声楽発声学会 第105回例会

薫風の候、皆さまにはますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。
2017年度第105回5月例会のご案内でございます。下記のプログラムにありますように、私たちの研究の糧となりますことを願って企画し、諸先生方の研究のご発表、またご講演のご協力を頂きました。お誘いあわせ多くのご参加をお待ち申し上げます。

会長 永井和子

プログラム

総司会 河合孝夫

開会挨拶 9:55~10:00

会長 永井和子

A 研究発表 10:00~11:30 (5-109 大講義室)

司会 泉 恵得

① 10:00~10:30 (質疑応答含む)

加藤晴子 (研究代表者、岐阜聖徳学園大学教育学部教授、博士 (学校教育))

村田睦美 (共同研究者、岐阜聖徳学園大学教育学部准教授、非会員)

「小学校や小学校教員を対象とした合唱指導の試み-発声と歌唱表現の接点を求めて-」

② 10:30~11:00 (質疑応答含む)

西浦美佐子 (西浦耳鼻咽喉科、沖縄県立芸術大学音声生理学講師、本学会理事)

「音声障害をきたした歌手の自覚的評価

~Singing Voice Handicap Index の検討~」

③ 11:00~11:30 (質疑応答含む)

鈴木慎一郎 (鳥取大学地域学部准教授、博士 (学校教育)、本学会理事)

「今日の学校教育におけるオペラ学習 - 教科書分析を通して - 」

~~~~~

第53回総会 11:35~12:20 (5-109 大講義室)

《総会次第は当日配布いたします》

~~~~~

~~~~~

— 昼 食 —

昼食は、藝大美術学部レストラン「大浦」をご利用ください。  
尚、申込みにつきましては6ページをご覧ください。

~~~~~

B 特別講演 13:20 ~ 15:20 (5-109 大講義室)

司会 川上勝功

演 題 「声はどのようにして作られるか」 ~発声の解剖と生理~

講 師：小林武夫氏 (帝京大学ちば総合医療センター耳鼻咽喉科・医学博士・本学会相談役)

西浦美佐子 (西浦耳鼻咽喉科・沖縄県立芸術大学音声生理学講師・本学会理事)

竹田数章 (仙川耳鼻咽喉科医院院長・医学博士・桐朋学園大学・洗足学園大学音声生理学講師・本学会理事)

講演概要：

肺から気管を経て上行してくる呼気流を声門レベルで調節することによって声となる。声道は声門から唇までの空間で、喉頭で生成された音は声道の形状変化によって様々に増幅され修飾されて鼻・副鼻腔と共に共鳴する。

歌手は、吸気と呼気を意識して、正常では認知できない固有知覚刺激を感じ取るように訓練している。これは胸部や腹部の膨隆、喉頭の位置、発声による振動（顔面領域、“マスク”）である。一旦、歌手がこれを感知できるようになったら、次はこれらの意識できない、制御もできない反射活動である運動を意識してコントロールするようになる。喉頭の挙上と下降は通常、不随意に瞬間的に嚥下や嘔吐と同時におこる。喉頭を下げて歌うのは、声の強さ、共鳴、声色を増強させる大切な手段である。

喉頭の三つの括約部（披裂喉頭蓋、仮声帯、声帯）を反射的にまとめて閉じることにより、気道は保護されるが、歌唱時には、この三重の閉鎖は別々に行われる。声門部のみ括約して他の二つは、弛緩させたままにしている。歌手は、こうして一連の反射活動（たとえば呼吸運動、嚥下運動）を分解してコントロールし、その一部を歌唱の時に使うようにしている。

声帯はかなりデリケートである。声帯は小さくて薄く、早く振動するが、筋緊張が充進すると傷つく可能性がある。このことを練習の際に考慮しなければならない。ピアニストは引き続いて何時間も練習するが、歌手は短時間の練習を日に何回かに分けて行うのが良い。練習の目的は、一般的にいつて機械的に筋を強くすることではなくて、中枢神経系を再構築することである。

(小林先生から、当日、喉頭鏡、喉頭ファイバースコープを持参して、会員の希望者に自分の声帯を見てもらい、写真を撮っていただけるとのお話をいただいています。)

<小林武夫氏（こばやしただけお） プロフィール>

1932年静岡県浜松市生まれ。愛知県豊橋時習館高校を経て、東京大学医学部卒。東京大学病院にて研修。New York 大学医学部に留学。帰国後、東京大学医学部耳鼻咽喉科助教授、JR 東京総合病院部長、帝京大学客員教授。国立リハビリテーションセンター講師、聖徳大学音楽学部講師。2016年病氣退職。

《専攻》耳鼻咽喉科学、顔面神経の医学、喉頭科学（喉頭麻痺痙攣性発声障害）、ジストニア疾患に対するボツリヌストキシンによる治療医学。

《役員・編集委員》日本耳鼻咽喉科学会、日本音声言語医学会、日本喉頭科学会、耳鼻咽喉科臨床学会、アメリカ喉頭科学会（ALA）海外会員。

《著書》痙攣性発声障害、顔面神経障害、図解耳鼻咽喉科検査法、耳科学（中公新書）喉もと過ぎた耳障りな鼻白むはなし、他。

《訳書》カートライト歴史を変えた病（法政大学出版）、ゴードン世界病氣博物誌（時空出版）、ゴードン歴史は病氣でつくられる、ゴードン歴史は患者でつくられる（時空出版）、ダレーヌ外科学の歴史（文庫クセジュ・白水社）

C 現役声楽家の演奏とお話 15:30~16:30 (5-109 大講義室)

司会 虫明眞佐子

講師：藤田卓也氏（ふじたたくや）テノール

ピアノ：片山朗らか子（かたやまほがらかこ）

曲目： 星とたんぽぽ 金子みすゞ詩 穴見めぐみ作曲
あんこまパン 林望詩 伊藤康英作曲

帰れソレントへ クルティス作曲
カタリ・カタリ カルディッロ作曲
オ・ソーレ・ミーオ カプア作曲
踊り ロッシーニ作曲

歌劇「アンドレア・シェニエ」より ジョルダノー作曲
ある日、青空を眺めて
五月の晴れた日のように
歌劇「トゥーランドット」より ブッチーニ作曲
誰も寝てはならぬ

<<プログラミングの意味するところ>>

MY FAVORITE SONGS で、お客様に幅広くお楽しみいただけそうなものをチョイスしました。

<藤田卓也 プロフィール>

島根大学卒業、同大学院修了後、渡欧。これまでに、KOBE 国際学生音楽コンクール1位、ドヴォルザーク国際声楽コンクール2位（チェコ）等を受賞。スロヴァキアのコシツェ国立歌劇場にて「椿姫」アルフレード役でオペラデビュー。その他、各国歌劇場等でのオペラ公演、音楽祭にソリストとして出演。2006年より帰国し各地で「夕鶴」「魔笛」「愛の妙薬」「ランメルモールのルチア」「ラ・ファヴォリータ」「清教徒」「ノルマ」「カルメン」「椿姫」「リゴレット」「仮面舞踏会」「妖精ヴィッリ」「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」「トゥーランドット」「トスカ」「ショパン」等のオペラ、宗教曲等に出演。2013年ミラノのダル・ヴェルメ劇場にてジルヴェスターコンサート、2016年ベルガモの聖ジョヴァンニ・ボスコ劇場にて歌劇「清教徒」アルトゥーロ役で出演。北九州シティオペラ会員。藤原歌劇団団員。くらしき作陽大学 大阪音楽大学 非常勤講師。ブログ：54-OUT ～限りある時間に無限のドラマ～

<片山朗らか子 プロフィール>

東京音楽大学ピアノ演奏家コースを経て、同大学大学院器楽専攻鍵盤楽器研究領域(伴奏)修了。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2016第2位。

閉会の挨拶

副会長 佐々木正利

~~~~~MEMO~~~~~

## ◎ 参加費

- ・正会員は不要です。(年会費未納の方は納入をお願いいたします。)
- ・臨時会員 6,000 円 (大学院生 6,000 円、大学生以下 4,000 円)
- \*学生の方は、当日学生証の提示をお願いいたします。

## ◎ 参加申込について

・正会員の方は、今回は総会がありますので、5月19日(金)までに同封のハガキで必ずご出欠(欠席の場合は委任状)のご提出をお願いいたします。

・臨時会員として参加される方は、参加費を下記の郵便振替口座に 5月19日(金)までに納入してください。通信欄に、「5月例会参加費」と明記し、所属、紹介者、住所、氏名、連絡先を明記してください。当日の参加受付も可能ですが、できるだけ事前の申し込みをお願いいたします。当日受付で入金を確認させていただくことがありますので、振込受領書、または振込明細をご持参ください。なお期日を過ぎた場合は当日申込・受付払いをお願いいたします。

振込先 郵便振替口座 00170-0-119920 加入者名：日本声楽発声学会

## ◎ 昼食の事前申込について(昼食弁当は、事前申込のみとなります。)

・会員の方は 5月19日(金)必着で、事務局へ FAX、E-mail、ハガキでお申し込みください。総会出欠ハガキの下段に昼食の申込み箇所がありますので、ご利用下さい。(電話での申込はご遠慮ください)。お弁当(お茶ペットボトル付) 1000 円です。当日、受付でお支払いいただき、引換券をお渡しします。

昼食は、東京藝術大学美術部学部内レストラン『大浦食堂』をご利用ください。

臨時会員で昼食お申込みの場合は、例会参加のお申込みの際の「振込取扱票」に書き添えてお申込みをお願いいたします。代金は当日受付時にお支払い下さい。

## ◎ 連絡先

(3月1日より事務局が移転しました。また、メールアドレスも、新ホームページに連携したアドレスとなりましたので、ご確認ください。会員の皆さまにはご不便をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。)

日本声楽発声学会事務局(担当：安原道子)

〒215-0003 神奈川県川崎市麻生区高石4-11-14-409(安原)

E-Mail: [info@jars-voice.org](mailto:info@jars-voice.org)

Tel/Fax: 044-577-2037

(日本声楽発声学会Webサイト <http://www.jars-voice.org/>)

郵便振替口座 00170-0-119920 加入者名：日本声楽発声学会